

YAMAHA

POWERED SPEAKERS

YST-M15

YST-M20DSP

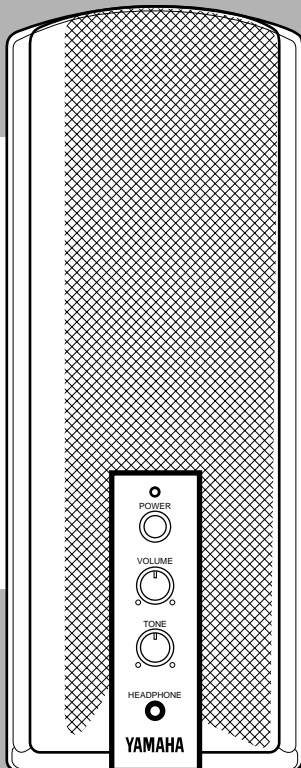
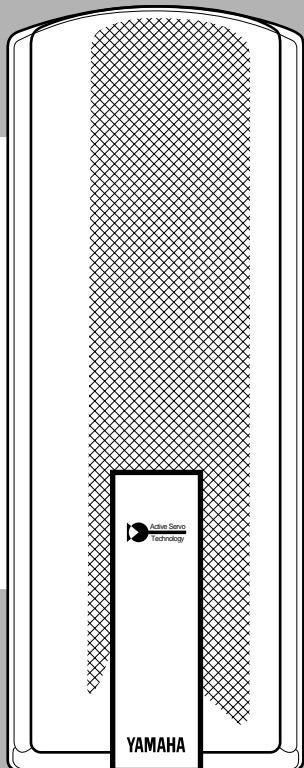


取扱説明書

このたびはヤマハ YST-M15/M20DSP
パワードスピーカーをお買い求めいた
だきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハアクティブサーボテクノロジーに
よるすぐれたサウンドを存分にお楽しみ
ください。

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。



安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



絵表示の例								
 指を挟まれないよう注意	 △ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。またぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。		本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。			
	 分解禁止				本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続したり、表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。		ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。	
	 記号は禁止の行為であることを告げるものです。				ACアダプターの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。			ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。				風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。			



警告



万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



万一、本機を落としたり、損傷した場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



ACアダプターのコードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。



移動させる場合は、本機のPOWERスイッチを切ってからACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



ACアダプターを接続する前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

注意



キャビネットをあけたり、分解しないでください。故障の原因になります。修理が必要な場合は、お買い上げ店にご相談ください。



旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。



お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

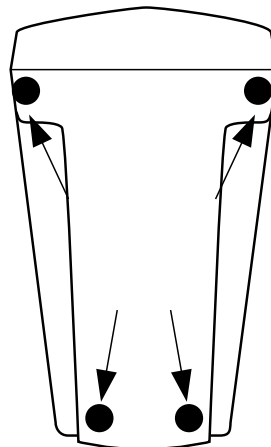
- 必ず本機専用のACアダプターをご使用ください。他の電源アダプターの使用による損傷については、弊社は責任を負いません。
- コントロールのつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカーの破損の原因となります。
- 本機は防磁設計となっておりますがコンピュータのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
- 故障と思われるときはすぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

接続

本機の接続については、5ページの接続例をご覧ください。

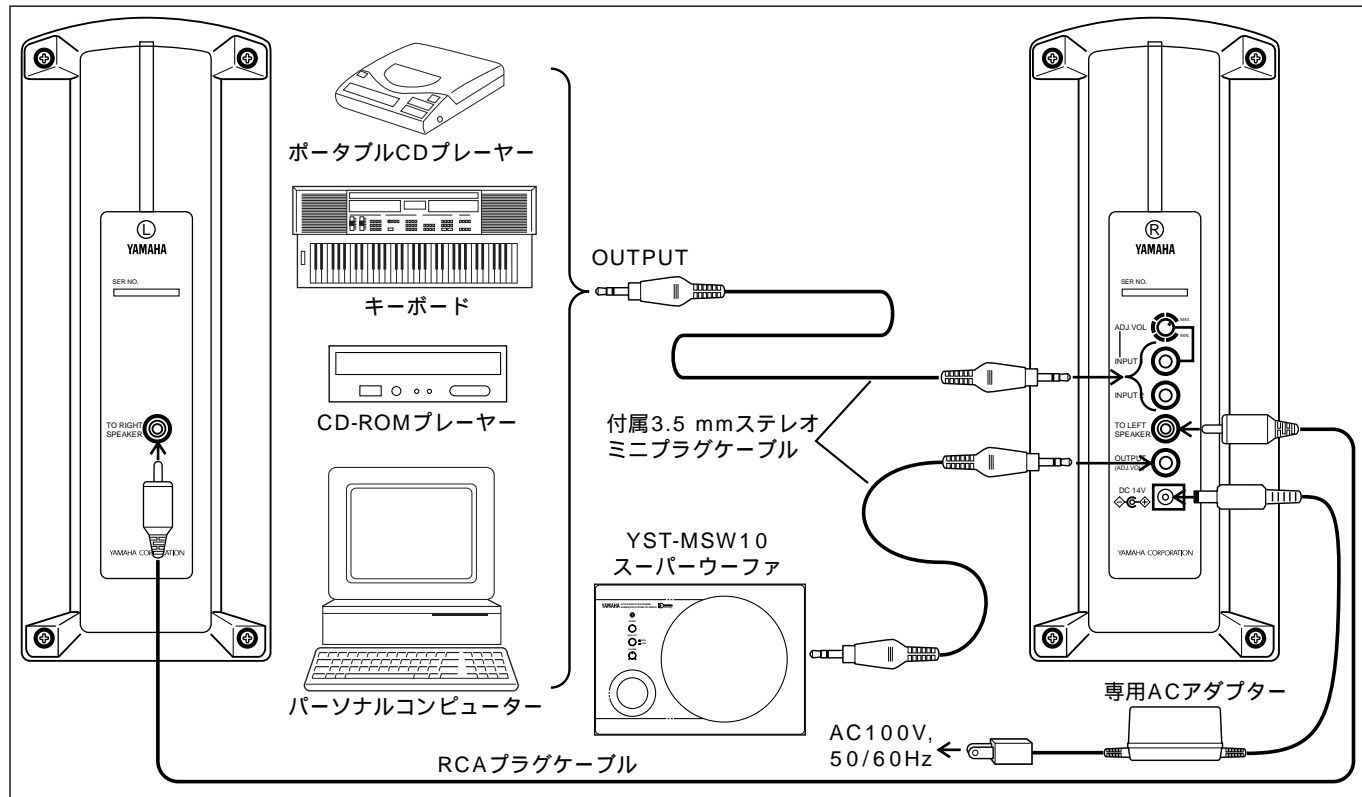
レッグ

図のようにスピーカーキャビネットの底面に付属のレッグを取り付けてください。スピーカーがすべりにくくなり安定します。



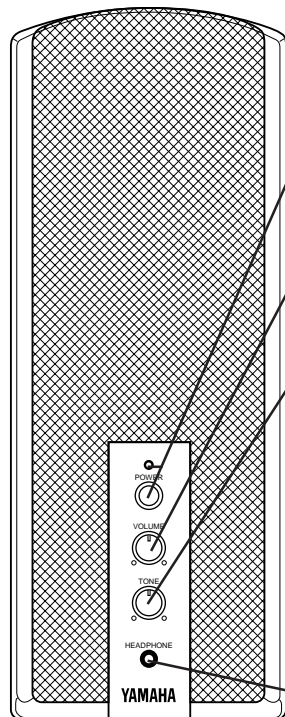
接続例

各機器の電源を切ってから接続してください。



各部の名称と機能

右スピーカー前面



YST-M15

パワ-
POWERスイッチ/インジケータ: POWERスイッチを押すと、電源が入り、インジケータが点灯します。スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

ボリューム
VOLUMEコントロール: 左右のスピーカーの音量を調整します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

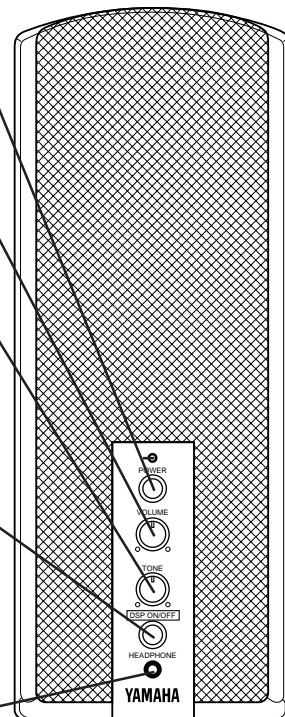
トーン
TONEコントロール: 音質を調整します。右に回すと高域が強調され、左に回すとおさえられます。

ディエスビ オン/オフ
DSP ON/OFF (YST-M20DSPのみ): DSP (デジタル・サラウンド・プロセッシング) をON/OFFさせれます。モノラル音、ヘッドホンの音にも広がりとお行き感のあるサラウンドのかかった音として聞こえます。

ご注意

低い音量レベルや無信号でDSPを使用すると、ソースによってはデジタルノイズが入ることがあります。そのようなときには、音量を上げるかDSPをオフにしてください。

ヘッドホン
HEADPHONE: ステレオヘッドホンでモニターするときに接続します。ヘッドホンを接続すると、左右のスピーカーと右スピーカー裏面のOUTPUT (ADJ.VOL.) からの音はでなくなります。



YST-M20DSP

右スピーカー裏面

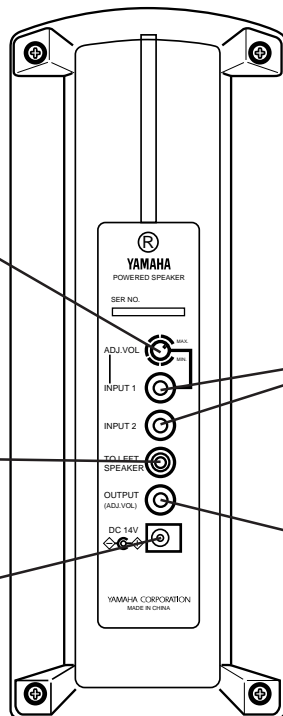
アジャストボリューム

ADJ.VOL.つまみ：INPUT 1に接続した機器の音量を調整することができます。INPUT 2に接続した機器の音量にくらべてINPUT 1の音量が高い場合には、出力レベルを調節して同じ音量で聞こえるようにしてください。通常はMAXの位置に設定してください。

トウ レフト スピーカー

TO LEFT SPEAKER：付属のRCAプラグケーブルを使って、この端子と左スピーカーのTO RIGHT SPEAKER端子と接続します。

DC 14V：必ず付属のACアダプターを接続してください。



インプット

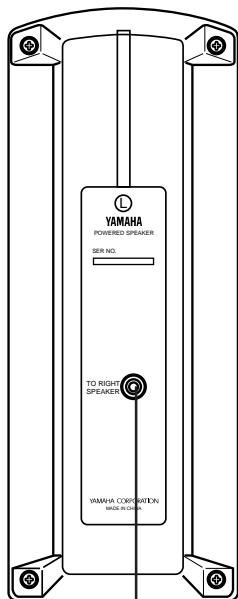
INPUT 1/2：本機へ信号を入力します。これらの2つの入力端子に同時に接続することにより、2系統の信号を入力できます。たとえば、CD-ROMプレーヤーとパソコン本体の出力をそれぞれ入力端子に接続できます。但し信号はミックスされます。

アウトプット

OUTPUT (ADJ.VOL.)：本機のVOLUMEコントロールで調整された信号が出力されます。

仕様

左スピーカー裏面



トゥ ライト スピーカー
TO RIGHT SPEAKER : 付属のRCAブ
ラグケーブルを使って、この端子と右ス
ピーカーのTO LEFT SPEAKER端子と
接続します。

タイプ	アクティブサーボテクノロジー方式
出力	7.5 W + 7.5 W (1 kHz, 4 Ω, 10% T.H.D.)
入力感度	230 mV (1 kHz, 10 W / 4 Ω)
入力インピーダンス	25 k
周波数特性	70 Hz ~ 20 kHz ± 3 dB
スピーカーユニット	8 cmフルレンジコーンタイプ、防磁型
出力インピーダンス	900
出力レベル	0.6 V (定格入力230 mV)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	94 × 245 × 155 mm
重量	1 kg / 右スピーカー 0.8 kg / 左スピーカー
付属品	ACアダプター x 1 3.5 mmステレオミニプラグケーブル x 1 RCAプラグケーブル x 1 レッグ (1セット)

*仕様は予告なく変更することがあります。

故障かなと思ったら

下の表に従ってもう一度確かめてみてください。そのうえで正常に動作しないあるいは下記以外の何か異常が認められる場合は、本機の電源スイッチを切りACアダプターをコンセントから抜いたあと、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問い合わせの上サービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
片方または両方から音がでない。または、音が小さい。または裏面のOUTPUT (ADJ. VOL.) に接続した機器から音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターがコンセントから抜けている。 ● POWERスイッチが入っていない。 ● 接続が正しくされていない。(または接触が不完全) ● 音量が最小になっている。 ● 入力信号が小さすぎる。 ● ヘッドホンを接続している。(ヘッドホンを接続していると、本機のOUTPUTに接続している機器からも音がでません。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターをしっかりとコンセントに差し込む。 ● POWERスイッチを入れる。(インジケーターが点灯します。) ● もう一度しっかり接続しなおすか、別のコードを使ってください。 ● VOLUMEコントロールを右に回して音量を上げる。 ● ADJ.VOL.つまみを右に回して音量を上げる。 ● 接続した機器の音量を上げる。 ● ヘッドホンを抜いてください。
音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号が大きすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した機器の音量を下げる。
不連続ノイズがでる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 低い音量レベルや無信号で、DSPをオンにしている。(YST-M20DSPのみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● DSPをオフにするか、VOLUMEコントロールを右に回して音量を上げる。
ノイズがでる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続が正しくされていない。(または接触が不完全) 	<ul style="list-style-type: none"> ● もう一度しっかり接続しなおすか、別のコードを使ってください。
電源が入るときに“ポツツ”という音がでる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源コードを他の機器のACアウトレット (SWITCHED : 連動) に接続して使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアウトレット (UNSWITCHED : 非連動) へ接続してご使用ください。必ず、本機のPOWERスイッチで電源をオン/オフしてください。
音に広がりがない。(YST-M20DSPのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ● DSP ON/OFFがオフになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● DSP ON/OFFをオンにしてください。

● POWERスイッチを切ってもVOLUMEコントロールがMAX.になっていると、接続したヘッドホンから小さな音が聞こえることがあります。

保証とアフターサービス

保証期間は、お買い上げの日から1年です。
故障のときはすぐに使用を中止して、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。

その際、必ず本体（左右両方）とACアダプターを合わせてお持ちください。

ご転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できないときは、弊社電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

修理、アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は、通産産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持込窓口

北海道 〒064-0810 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内

Tel (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F

Tel (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184

Tel (044) 434-3100

東京 (お持込修理のみ取扱い)

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

Tel (03) 5488-6625

浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内

Tel (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F

Tel (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内

Tel (06) 877-5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内

Tel (0878) 22-3045

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14

Tel (082) 874-3787

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4

Tel (092) 472-2134

YST-M15 / M20DSPには下記のサービスパーツがあります。

販売店にお問い合わせ下さい。

品名	部品番号
ACアダプター(1.8m)	VU187400
3.5mmミニプラグケーブル(1.8m)	VS49440
RCAプラグケーブル(1.8m)	VT309500
レッグ(8個入り)	VS104300

お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

TEL (03) 5488-5500

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 Tel (053) 460-3451

品質保証室 Tel (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA